



↑キャラバンカー内で、パソコンの画面に触れながら薬物の怖さを学ぶ児童

★ 薬物 キャラバンカーがやってきた 物の怖さ学ぶ

城川内小学校（島兒康朗校長）に3月5日、薬物乱用防止キャラバンカーがやってきました。キャラバンカー内は、展示コーナーと映像コーナーに分かれて、専門の指導員が解説を交えながら薬物乱用の正しい知識を得られるように工夫されています。

同校では、児童たちがキャラバンカー内で指導員の話の聞いたり、教室でビデオや資料を見たりすることで、シンナーや覚せい剤などの薬物使用がきっかけで、身も心もぼろぼろになってしまう「薬物の怖さ」を実感していました。

6年の野中将成君は「いろいろな機械があつて、楽しく勉強できました」と話していました。

★ 周 自衛隊新入隊者壮行会 りのため 自分のために頑張る

3月8日、役場町長応接室で自衛隊入隊者壮行会が行われました。今年の新入隊者は森枝竜二さん（葛輪）、市尾達也さん（菅牟田）、林秀一さん（加世堂）、濱田祥平さん（馬込）、濱政樹さん（幣串）、大堂努さん（浦底）の6人です。

会では川添健町長や自衛隊関係者らから激励のことばが贈られた後、新入隊者それぞれがお礼のことばを述べ、森枝竜二さんは「周りのため、自分のためと思い頑張ります」と決意を新たにしていました。



↑出席者を前に、お礼や決意を述べる新入隊者

↓屋台に集う地区民たち



★ ねはんまつり 屋 台や市で終日賑わう

3月10日、城川内の長光寺でねはんまつりが行われ、同寺の門前に並んだ屋台や市にたくさんの地区民が集い、終日賑わいました。

このまつりは、毎年3月の第2土曜日に開催されていて、綿菓子やまんじゅう、おもちゃなどの屋台が軒を連ね、植木や包丁、農具などの市も並びました。

このまつりは、地元はもとより町内の住民に長年親しまれ、城川内の風物詩となっている行事です。